

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	18
--------	----

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	乳幼児健診					
予算科目	4	款	1	項	5	目
予算事業名	母子衛生費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課		担当課長	國壽 和幸		
事業担当者	上安 由里恵		一次評価者	持松 可奈子		
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	母子保健法					
事業の対象	4・7・12か月児、1歳6か月・3歳児					
事業の目的	乳幼児の健康の保持増進を目的に、身体面・精神面の発達、養育状況を確認し、必要であれば適切な保健指導、療育、医療などにつなげる。					
実施期間	開始年度	平成 63 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	4・7・12か月児は月1回、1歳6か月・3歳児は2か月に1回、ヘルスC&Cセンターで健康診査を行う。 ①計測②尿検査(3歳)③問診④離乳食指導(4・7・12か月児)⑤歯科保健指導(12か月・1歳6か月・3歳児)⑥診察⑦みそ汁塩分測定・栄養相談(1歳6か月児)⑧保健指導					
目的達成の指標	乳幼児健診受診者数・率					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	人(%)	355(97)	395(97)	400(98)	400(98)
実績	人(%)	340(95.8)	398(97.5)			
指標設定の考え方	疾病・発達の遅れの早期発見、虐待のリスクを把握し介入するためには、より多くの児が受診することが望ましいと考える。					
事業遂行時懸案事項等	未受診者について、家庭状況や園での様子を確認し、現状把握を行う必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	母子カンファレンスを月1回行い、未受診者についての情報共有を保健師・看護師・管理栄養士間で行った。また福祉係や子育て係、保育園などの関係機関と連携を行い、未受診者の現状把握を行った。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 929 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.63	0.81	0.81
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	4,592	5,978	5,953
事業費	直接事業費	2,422	2,213	2,277
	人件費	4,592	5,978	5,953
	合計	7,014	8,191	8,230
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	7,014	8,191	8,230
合計	7,014	8,191	8,230	8,230

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	2,422	2,213	2,277	2,277	2,277
実 績	2,124	2,213			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
未受診者への訪問・電話 件数	件	40	30	30	30
		43	35		
母子カンファレンス	回	6	12	12	12
		6	12		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 905 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.63	0.81	0.81
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	4,263	5,978	5,774
事業費	直接事業費	2,124	2,213	2,213
	人件費	4,263	5,978	5,774
	合計	6,387	8,191	7,987
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	6,387	8,191	7,987
合計	6,387	8,191	7,987	

実施備忘録

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

九州大学病院の小児科医・歯科医や歯科衛生士、保健師などの専門的な立場から4か月、7か月、12か月、1歳6か月、3歳児がそれぞれの時期に合わせた成長をしているかどうか総合的に確認することができるため健診は必要である。
 また乳幼児期に複数回健診を行うことで、要経過観察になった児について、次回の健診で様子を見ることができ、フォローできる場となっている。さらに必要に応じて、紹介状の作成や病院の紹介などを行い、疾病の早期発見・介入につなげることができている。
 また未受診者については、関係機関と情報共有を行い、全員の現状把握ができています。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

未受診者や健診での要観察者については、月1回の母子カンファレンスで保健師・看護師・管理栄養士間で情報共有を行っているため、関係者間で共通認識を持って健診や支援にあたることができている。
 今後は、未受診者の増加に対するアプローチ方法を検討していく必要がある。
 さらに転入者の増加に伴い、健診の対象者も増加しているため、健診の実施回数を検討していく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か？	5 4 5 4	A	
2. 町が実施する必要があるか？	5 5 4		A
3. 実施内容は適切か？			
①有効性	4 4 4		
②効率性	4 3 4	B	
③公平性・透明性	4 4 4		

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

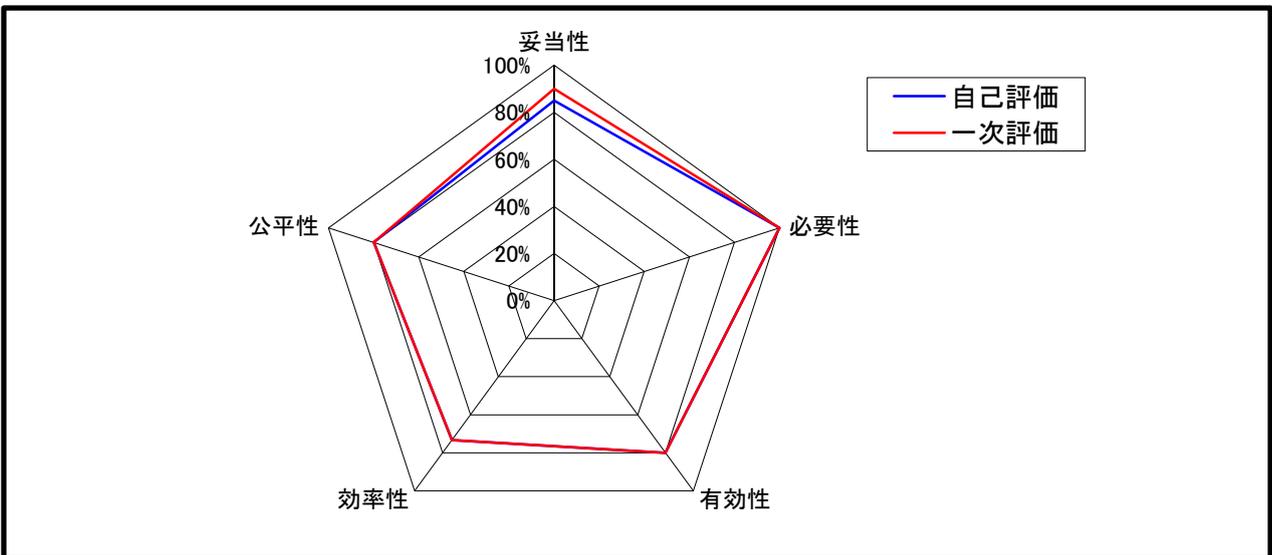
見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

乳幼児健診は児の健やかな発達、発育の支援および母親の育児支援を行ううえで重要な事業である。健診の未受診者対策として、今後も乳幼児健診の必要性を周知するとともに、カンファレンスによる情報共有のほか、関係機関からの情報を確認して個別アプローチを継続していく。健診対象者の増加については、開催回数の検討を行い、丁寧な個別指導を継続して行える体制を整える必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	國崎 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

乳幼児健診を受診して頂くことで、本町で育っていく子供たちの健全な育成にもつながっていく。今後も継続して事業を行っていく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--